

# CONTENTS

No.282 2023年10月号 草月指導者連盟機関誌

32 27 25 24 10 8 4 2



## 『水に色をいける』

家元が水にインクを落とし色をいける。  
目まぐるしく変化する色彩、  
その一瞬を切り取るシリーズです。

表紙作品=勅使河原茜  
表紙アートディレクション=永井裕明 (N.G.inc.)  
表紙デザイン=前田由貴 (N.G.inc.)  
表紙写真=金子親一  
印刷=東洋紙業株式会社  
制作協力=丸紅フォレストリンクス株式会社

だから、おしゃべりはやめられない 第90回「外に向かってアピールしていく」  
勅使河原茜の花  
インフォメーション  
「茜家元と迎える新年の会2024」ライブ配信決定！  
動画で見る、勅使河原宏  
プレミアムデモンストラーションショー「茜の部屋」  
百花万葉  
学校いけばな  
レビュー G7広島サミット社交行事・夕食会  
インフォメーション 本部教室／草月WEST  
カレンダー

第104回 草月いけばな展「What's SOGETSU? 草月ってなんだろう？」

2023年10月25日(水)-30日(月) 日本橋高島屋S.C. 本館8階ホール

前期:10月25日(水)-27日(金) 後期:10月28日(土)-30日(月) 10:30-19:30 入場料:1000円(税込)、中学生以下無料

※27日(金)は15:30まで(16:00閉場)、30日(月)は16:30まで(17:00閉場) 総合監修:勅使河原 茜(草月流第10代家元) 主催:一般財団法人草月会 <https://www.sogetsu.or.jp>

草月



## 第104回 草月いけばな展 「草月ってなんだろう? What's SOGETSU?」

2023年10月25日(水)～30日(月)

前期:10月25日(水)～27日(金) 後期:10月28日(土)～30日(月) / 10:30～19:30

※27日(金)は15:30まで(16:00閉場)、30日(月)は16:30まで(17:00閉場)

日本橋高島屋 S.C. 本館 8 階ホール

同時開催:「What's SOGETSU?」特別展示 本館1階正面ステージ

2023年10月25日(水)～30日(月)

監修:勅使河原茜家元 主催:一般財団法人草月会

入場料:当日券 1,000円(税込)、前売券 800円(税込) ※中学生以下無料

※チケットは、草月会館3階会員サービス部、草月WESTにて前売券をお買い求めいただけます。  
また、展覧会場にて当日券をお買い求めいただけます。

※会場の混雑状況により、入場制限をさせていただく場合がございます。

※会期や内容は変わることがあります。また、天災及びその他不可抗力による事由により、  
草月いけばな展の開催を延期・中止する場合がございますので、予めご了承ください。

※最新の情報は日本橋高島屋 S.C.、一般財団法人草月会のホームページをご覧ください。

お問い合わせ [事業課] TEL: 03-3408-1156 / FAX: 03-3405-4947 / E-mail: kikaku@sogetsu.or.jp

「） ちらでもたびたび話題に出している創流100周年。少しずつ具体的に動き出しており、創流祭や記念のパーティーは2027年の3月に開催することが決定しました。国内はもちろん、国外の皆さんとも大いに盛り上がりたいと思いますので、今からスケジュールを空けて楽しみにしてください！」

100周年というのは大きな節目であり、80周年、

だから、おしゃべりはやめられない

90

## 勅使河原茜

# 外に向かつてアピールしてさく

最近、公共の場などで、草月以外の竹の装飾やインスタレーションを見る機会が増えたように思います。竹害が各地で問題になっていたり、SDGsの観点から自然素材としての竹が見直されたりしていることも背景にあるのでしょうか。注目されること自体はいいのですが、竹はもともと先代家元の宏が本格的に手がけ、確立させた、草月の十八番とも言える素材です。そういった、

「きること」草月でなければできないこと」を改めて考えてみてください。そして、100周年に向けて、一緒にチャレンジしていきましょう。

と、威勢のいいことを言いましたが、今年の夏の暑さには、ほとほと参りました。気象庁に記録が残っている125年間で平均気温がもっとも高かったそうので、皆さんもまだ夏の疲れが残っているのではないのでしょうか。私にとっては、自宅建て替えのための仮住まいで迎える、初めての夏でもありました。仮住まいは高層階にあり、眺望は抜群。一面が大きな窓になっているため外の天候がよくわかり、まるで映画のスクリーンのように目まぐるしく変わります。青空はより青く感じますし、ゲリラ豪雨や雷などの迫力は凄まじく、思わず飛び上がりそうになるほど。都心の真ん中にいるというのに、逆に自然の美しさや脅威を身をもって感じるようになりました。若いころは、景色を楽しむことにあまり興味を覚えなかったのですが、今はリラックスできるお気に入りの時間です。

それでも時々、以前の自宅を思い出さずにはいられません。幼いころの記憶や家族たちと過ごした光景、昔ながらの街並みなどが頭の中に浮かぶたび、少し胸がきゅつとします。来年の草月カレンダーには、建て替え直前の旧自宅で撮影した作品も含まれています。少し気が早いですが、ぜひお手にとってご覧ください。

や90周年とはひと味もふた味も違う重みを感じます。これまでの周年行事では、未来に向けての新しく斬新な試みをひたすら追求してきましたが、100周年は「草月」というブランドを世間に大きくアピールするチャンスだと考えています。草月が大切にすべきことは何なのか、初代家元・蒼風の精神に立ち返り、「This is SOGETSU」を打ち出す機会にしたいのです。

ものを目にするたび、「どうしてここにあるのが草月の作品じゃないんだろう」草月だったら、もっと素敵にできるのに！」と、地団駄を踏みたくなります。竹に限らず、植物を使った大作については、草月の独壇場にするくらいの意気込みで取り組んでいきたいもの。そのためには内だけでなく、外に向かつてアピールすることがますます重要になってきます。皆さんも「草月だからで



右は仮住まいからの眺め。左はリビングテーブルに映り込んだ青空をパチリ。



秋の実ものをいけるときは、心に豊かさが生まれるような気がします。  
オレンジ系の小ぶりの実を集め、それぞれの繊細さを大切にしながら、温かく優しい表情を引き出しました。

花材：ピラカンサ、豆柿、まゆみ、菊 花器：陶器花器 サイズ：105×160×182cm



ビブナム・コンパクターを上へ上へと伸びやかにいけました。  
ピンクのオンシジウムと合わせながら、軽やかに流れるように。

花材：ビブナム・コンパクター、なんてん、オンシジウム 花器：陶器花器 サイズ：91×54×62cm



清爽なグリーンの実もので構成した作品です。  
花器は黒を選び、花材とのコントラストを強調。一つひとつの実の表情をより際立たせました。

花材：ふうせんとうわた、レモン 花器：ガラス花器（岩田久利） サイズ：64×92×58cm

## この秋、家元と触れ合える特別なイベントがやってくる！ プレミアムデモンストレーションショー 「茜の部屋」



2020年初頭、未曾有の状況に陥り、イベントが開催できない日々を過ごしてきました。ようやく明るい兆しがみえ、草月でも展覧会をはじめ、最近では様々な取り組みを再開しています。そして、この秋は、家元と一緒に、草月らしい心地よい時間と空間を分かち合える特別イベントを開催いたします。家元のデモンストレーションはもちろんのこと、ご参加いただいた方のみ体験できる様々なお楽しみ企画を用意して、皆さまのお越しをお待ちしております。ぜひこの素敵な場所にお越しください！

2023年11月23日(木・祝) 14:00～16:00(予定)

会場：草月会館2階談話室 / 出演：勅使河原茜家元

参加費：22,000円(税込) / 対象：草月指導者連盟会員 / 募集人数：40名(予定)

### 【お申込方法】

電話、メール、FAXのいずれかにてお申込みを受け付けます。

「①草月指導者連盟会員番号 ②名前 ③連絡先を事業課(下記)まで必ずお伝えください。

**申込み受付開始：10月12日(木) 10:00より一斉募集開始**

※先着順、定員になり次第締切。

※上記日時前にお申込みいただきましても受け付けいたしかねます。

※ご参加が確定された方には追って詳細をお送りします。

※お申込み後のキャンセルは受け付けいたしかねます。

お問合わせ [事業課] TEL：03-3408-1156 / FAX：03-3405-4947 / E-mail：kikaku@sogetsu.or.jp

### 満員御礼

## 「茜家元と迎える新年の会2024」ライブ配信決定！

(英語・中国語 通訳あり)

来年1月13日(土)におこなわれる「茜家元と迎える新年の会2024」に多くのお申込みをいただき、お陰様で草月ホールが満席となりました。心より御礼申し上げます。この「茜家元と迎える新年の会2024」のライブ映像を、全世界の皆さまにお届けいたします。家元による「新春ご挨拶」と「初いけデモンストレーション」を現場の臨場感とともにライブでお楽しみいただけるほか、茜家元の最新特典映像、新理事・新顧問・新4級師範に昇格された方々による新企画「昇格お披露目」準備の様子もご覧いただけます。全国の指導者の皆さま、新春のお稽古始めは「茜家元と迎える新年の会」をご覧ください。ご自宅や教室で、茜家元による豪華初いけをお楽しみください！



### 「茜家元と迎える新年の会2024」ライブ配信

2024年1月13日(土) 10:00～11:30

(10:00～入室開始 / 10:30～特典映像 / 11:00～11:30 草月ホールよりライブ配信)

後日アーカイブ配信あり

【費用】3,000円(お一人) 【申込み期間】～2023年12月26日(火) 23:59

【申込み方法】Peatixからお申込みください。 <https://sogetsu2024.peatix.com>



Peatixはこちらから↑

お問合わせ [総務部] TEL：03-3408-1154 / FAX：03-3405-4947 / E-mail：somu@sogetsu.or.jp

## 動画で見る、勅使河原宏



草月の歴史を振り返る映像1本を、  
動画配信サイトにて配信中です。

【配信動画】「東大寺献花 大仏殿 昭和大修理落慶法要」(16分 / 1980年)

今回の映像は、第三代家元・勅使河原宏が家元を継承して初めての映像です。

7年間の月日をかけて完成された、東大寺大仏殿の昭和大修理落慶法要における献花式の様子が収録されています。初代家元・蒼風の羽織袴を着こなし、自作の越前花器を使用した献花式は必見です。

【料金】1,100円(税込) 【配信期間】2023年12月31日まで

※詳細は草月流ホームページをご覧ください。

お問合わせ [事業課] TEL：03-3408-1156 / FAX：03-3405-4947 / E-mail：kikaku@sogetsu.or.jp

茶華道連盟展に

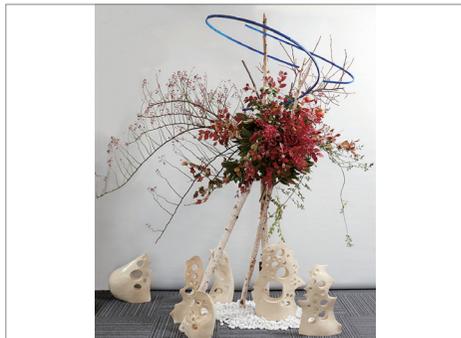
2022年11月19日・20日  
奈良／ミグランス(橿原市役所分庁舎)  
井倉陽星・吉澤星玲 他



地域で開催される茶華道連盟展に参加。流派を超えた交流があり、市民の皆さまにも楽しんでいただいた。

2022年花の作品展 一枝乃秋

2022年11月19日・20日  
大阪(豊中市)／千里朝日阪急ビル4F A&Hホール  
メティエフローラルアート・いけばな草月流／中村俊映(写真作品)



「一枝乃秋」と名付け、15名で実行委員会を立ち上げ、半年の準備を経て開催。体験教室も実施し、早々に満員となった。

文化祭

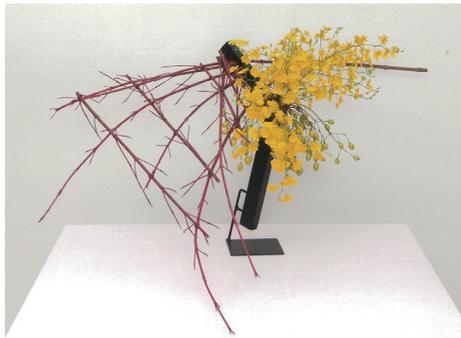
2022年11月14日～23日  
福岡(北九州市)／伸寿苑  
伊庭翠雅



介護老人施設の利用者の方々格外的な策ができたため、いけばなで秋の景色を表現、「ありがとう」と感謝された。

兵庫県いけばな展 一いけばな観に行こ～よ～

2022年11月17日～22日  
兵庫／大丸ミュージアム(神戸)  
岡島真草(写真作品)・西山篤昭・寺田康堂・浦田丹彩・浦貴方 他



中央席を設けるなど、会場レイアウトに変化をつけた。盛会で、パンフレットが足りなくなるとい嬉しい悲鳴が。

ミニいけばな展

2022年11月12日・13日  
千葉(市川市)／スノーフラワー・妙典教室  
草月8名(主催:堀江祥雪)



コロナ禍で公民館の文化祭が中止になった代わりに、いつもの教室でミニいけばな展を開催。来場者を楽しませた。

沖縄国際洋蘭博覧会2022

2022年11月12日～20日  
沖縄(国頭郡)／海洋博公園 熱帯ドリームセンター  
芝田蘭翠



国際的な蘭展として国内最古の歴史をもつ博覧会に出品。奨励賞(一財) 沖縄美ら島財団理事長賞を受賞した。

第51回佐伯芸術文化祭諸流いけばな展

2022年11月26日・27日  
大分(佐伯市)／さいき城山桜ホール 小ホール  
草月12名 写真作品:大司彩佳



クリスマス花、正月花も並び、華やかな花展に。舞台芸術祭も同時に開催され、多くの方に楽しんでいただいた。

日本橋いけばなスクール 師範インスタレーション

2022年11月26日・27日  
東京／文京シビックセンター  
日本橋いけばなスクール 師範19名



師範を保持する人たちが、日ごろの研鑽の成果として、大きな空間にアプローチできる作品に挑戦した。

贈り物パート2「11月の花」変化するいけばな

2022年11月24日～30日  
北海道／札幌文化芸術交流センター1F  
草月16名



令和4年度札幌市文化芸術活動再開支援事業を受けて開催。金網、アルミ板などを使った4流派の合作等を展示した。

AICF社中展

2022年11月25日～27日  
福岡／久留米シティプラザ2階展示室2  
福岡県支部 AICFグループ



AICFグループの創設者である小川草珠先生が亡くなられて7年になるのを機に、約20名で社中展を開催した。

第29回生涯学習フェスティバル

2022年11月20日  
岐阜／長森コミュニティセンター  
山室沙白社中



28回連続で続けてきたいけばな展。コロナ禍のため、今回は3年ぶりの開催となった。

北村青葭社中展イロトリドリPART2

2022年11月24日～29日  
東京(多摩市)／京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンターブリッジギャラリー  
北村青葭 他24名&子ども教室15名



会員のいけばな、水のないいけばな、子ども教室の作品を展示。多くの方の関心を引いた。

所沢市並木地区文化祭

2022年11月5日・6日  
埼玉/所沢市並木まちづくりセンター  
野中紫香



2年ぶりの再開となった並木地区文化祭。芸能発表ホールの入口に迎え花を展示。記念撮影スポットとして人気。

公民館祭

2022年11月6日  
鳥取/米子市加茂公民館  
名越清節 他草月4名



5名で合作を出品した。テーマは「秋色(しゅうしよく)」。『すこい』素晴らしい」と感嘆の声をいただいた。

UOEと仲間たち

2022年11月5日・6日  
東京(大田区)/田園調布せせらぎ館  
草月11名



コンセプトは「つながる」。コロナと戦争とし、いけばなでコロナ禍や戦争を表現し、分断された世界の回復を祈念した。

蓮田市制施行50周年記念いけばな展

2022年11月5日・6日  
埼玉/蓮田市総合文化会館<ハストピア>  
黒須染春社中3名



市制50周年を記念する花展。素材で感性を表現するいけばなの楽しさを来場者の方々とともに喜び、分かち合った。

後藤秀樹氏の花器にいける

2022年11月4日~10日  
岐阜(多治見市)/セラミックパークMINO  
古田静波



陶芸家の後藤秀樹さんより依頼を受け、来客数の多いセラミックパレー展に展示。たいへんご満足いただいた。

英会35周年記念展

2022年11月5日・6日  
東京/港区立伝統文化交流館  
英会・平嶋英宝・矢野嶺宝 他16名



琵琶とのコラボレーションを行い、舞台で竹の中に花をいけた。音と花がマッチし、喜ばれた。体験教室も開催。

美ら島おきなわ文化祭2022

2022年11月12日・13日  
沖縄市民会館中ホール・中央公民館  
草月5名



日本復帰50周年記念の文化祭の華道部門でいけばな展を開催。沖縄市文化協会華道部所属の5名で大作を出品した。

ガーデンツアーでデモンストレーション

2022年11月12日  
ニュージーランド(Waihi)/Nesbitt邸  
村上桂泉



ライオンズクラブのガーデンツアーで選ばれた約5千坪の庭の一角にて、庭の花材を使い、デモでいけばなを紹介。

すがも中山道菊まつり

2022年11月6日~14日  
東京(豊島区)/眞性寺 阿弥陀堂  
映花会



3年ぶりの開催。割竹を左右に流し、間に菊ゆりののばら、やつでを配し、周りに個人作を制作。好評を博した。

総社市華道連盟華展

2022年11月12日・13日  
岡山/総社市民会館  
佐藤春湖・赤澤香慶



来場者の皆さまとの交流の場として、楽しく、なごやかな時間を笑顔で過ごすことができました。

2022年生涯学習フェスタ坂出華道展

2022年11月12日  
香川/坂出市勤労福祉センター  
草月6名 写真作品:荒井幸萩(左)・井川加千(右)



コロナ禍のため、たった1日だけの展覧会となったが、会員一同嬉しい時間を過ごした。

大田原文化協会美術展

2022年11月11日~13日  
栃木/那須野が原ハーモニーホール  
瀬尾草萌社中 写真作品:(右から)瀬尾草萌・井出草心・藤澤悠爾



竹工芸、陶芸、洋画・日本画、その他作品の中に華道も参加。各流派から19名の作品が展示された。

花と遊山 出村丹雅草グループ展

2022年10月30日～11月13日  
徳島(美馬市) / 吉田家住宅  
出村丹雅草グループ



2006年から続けている社中展  
今年で15回目を迎えた。入場者は  
2700名。町の風物詩となっている。

いけばな講座

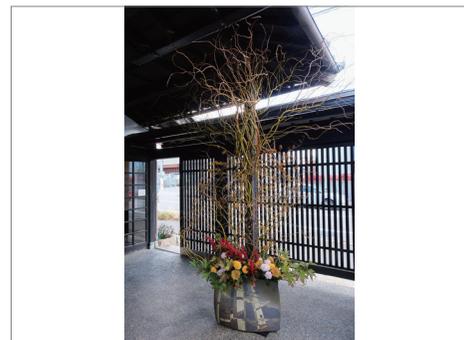
2022.11月  
東京(世田谷区)  
市川恵己理



初心者の方に向け、基本立真型投入の  
講座を開催。子どもから大人まで、幅広  
い年代の方々にご参加いただいた。

オノマトペを楽しむ

2022年11月3日～14日  
石川 / めん房つるつる 4店舗  
柴波いけばな教室



陶芸教室の皆さんの作品とコラボ、「動  
きを表現する」をテーマに、オノマトペ  
でさらにイメージを広げた。

まちなみアート—my made 堅小路 2022—

2022年11月4日～6日  
山口 / 八坂の森  
山口県支部 山口グループ



築山跡史跡公園内・八坂神社入口の鳥  
居前に作品を展示。天候にも恵まれ、  
道行く人々の目を楽しませた。

第71回 県華道展

2022年10月30日・31日(前期)・11月2日・3日(後期)  
徳島 / あわぎんホール  
草月20名 写真作品:板井修晴(左)・天羽星嘉(右)



16流派が季節のいけばなをいけた。草  
月からは20名が力作を出品。多くの方  
が来場し、活気のある会場となった。

第12回日南市総合文化祭

2022年10月30日～11月6日  
宮崎 / 日南市生涯学習センターまなびピア  
平澤沙香社中



コロナ禍の影響で3年ぶりとなった文  
化祭に出品。日南市の花を使い、趣向  
を凝らした作品にした。

須崎市(文化の日)表彰式会場にいける

2022年11月3日  
長野 / 須崎市文化会館メセナホール  
黒岩千景・松澤芳美・村石かず子



須崎市より依頼を受け、文化の日の表  
彰式会場に祝い花を制作。依頼者・受賞  
者の方々からたいへん喜ばれた。

第56回福岡市華道展

2022年11月3日～6日  
アクロス福岡  
福岡県支部10名 写真作品:片山華(左)・實淵邦松(右)



22年度から公募展となった福岡市華道  
展に応募した支部の有志が出品。日ごと  
出品できなかった会員も参加できた。

ARITA×SOGETSU in 佐賀大学有田キャンパス

2022年10月29日～11月1日  
佐賀大学有田キャンパス エントランスギャラリー  
後藤麗美・平井夏光・齋藤庭黎・内藤華了



有田焼窯元と草月流が協働で開発した  
花器や日常的な有田焼の器を使い、花  
の展示といけばな体験教室を行った。

テキスト・おさらい展

2022年10月30日・31日  
長野(松本市) / 萬久山 龍昌寺  
小澤恵子社中 写真作品:小澤恵子



忘れかけていたテキストを見直す機会  
に、秋の花材が豊富に揃い、天候にも  
恵まれ、全てが順調に進んだ。

まるがめ文化芸術祭

2022年11月2日・3日  
香川 / 丸亀市生涯学習センター  
草月8名 写真作品:沼田広菜(左)・込山広佳(右)



他の分科会との交流も交えながら楽  
しく参加。家の庭にある身近な花材を  
使った秋らしい作品が並んだ。

ホセ・カレーラス テノール・リサイタル

2022年11月3日  
福岡シンフォニーホール  
山口松苑 他2名



世界三天テノールの一人とされるホセ・  
カレーラスさんのステージ花を。曲想を  
考え、白とシルバーを中心に構成した。

小学生から大人まで秋を楽しんだ教室展

2022年10月25日～31日  
大阪／豊中市立市民ギャラリー  
神武祥染・清田咲染 他10名



毎年続けている教室展。今回は個人作・フレーム作各12点、大作1点を展示。集客はインターネットを中心に行った。

第34回よみうりカルチャー北千住 草月流勉強会

2022年10月28日～11月9日  
東京(足立区)／よみうりカルチャー北千住  
草月流受講生 指導:山田翠



いけばなと廃物を利用した立体造形を各自1点制作して展示。コラージュ、レリーフ等、興味深い作品が並んだ。

第5回香川発! 伝統と現代をしつらえる

2022年10月29日・30日  
香川／史跡高松城跡玉藻公園 披雲閣大書院・蘇鉄の間  
岡本麗弘社中



よしおかりつこさんのファイバーアートとのコラボでいけばなを楽しむ。高松市長はじめ、千名余りの来場者があった。

山口市民文化祭

2022年10月29日・30日  
山口市民会館 展示ホール  
草月6名 写真作品:田村明苑・武林英悠



コロナ禍で3年ぶりの開催となった市民文化祭に出品。多くの市民の方々に久しぶりの花展を楽しんでいただいた。

操山公民館ロビー展

2022年10月25日～29日  
岡山市立操山公民館  
伊達香貴社中



コロナ禍で公民館祭が開催できない代わりに、週替わりのロビー展を開催。花材・花器は、くじで決めて制作した。

第30回名古屋いけばな芸術展2022

2022年10月25日～30日  
愛知／名古屋市民ギャラリー栄8F 第6～11展示室  
草月20名 写真作品:志賀秋桜(左)・柴田香津(右)



愛知県を中心に活動する7流派他 51流派から240名が参加。各々の特徴をいかした作品を披露した。

市民文化展

2022年10月29日・30日  
石川／七尾市文化ホール  
伊藤順柱



見事に実ったゆずを使って。バランスがどうなるかと心配したが、楽しくいけることができた。

耀の会「教科書いけばな展」

2022年10月29日・30日  
富山県民共生センターサンフォルテ  
富山県支部 耀の会



5冊のテキストから会員25名が花型を中心にいけた。テキストの素晴らしさを再確認し、初心に戻る機会となった。

山口県邦楽大会舞台花

2022年10月23日  
山口／周南市文化会館 大ホール  
藤井苑幸



着色竹、どうだんつつじ、ななかまどなど和風の花材を使い、「モダンな『日本の秋』」を表現した。

高齢者施設にいける

2022年10月24日～30日  
静岡(熱海市)／翔裕館  
小野口香翠



施設の庭にあるざくろ、ピラカンサ、キウイの蔓などを使って恵みの秋を表現。コロナ禍終息への願いを込めて。

秋をいける

2022年10月29日・30日  
埼玉(川越市)／旧山崎家別邸  
大重由虹社中



旧山崎家別邸の建築様式をいかし、日本建築の部屋にはいけばな、西洋建築の部屋にはそれにふさわしい花をいけた。

村山市芸術祭 いけばな展

2022年10月29日・30日  
山形／村山市民会館  
大場仙華 他



正面玄関に迎え花をいける。「こどもいけばな体験教室」バリアフリーいけばな教室」も実施した。

倉敷屏風祭に

2022年10月15日・16日  
岡山／倉敷本通り商店街  
小林青亭・甲怒青修



地元の秋季例大祭に合わせた屏風祭が3年ぶりに開催され、協賛いけばなどとして、屋外4ヶ所に設置した。

第56回いけばな大阪展

2022年10月18日～23日  
大阪／あべのハルカス近鉄本店 近鉄アート館  
草月18名 写真作品:岡本青珠



毎年開催される、近畿でもっとも大きな展覧会、恒例となっており、多くの方が楽しみにしてくださっている。

井上和萌社中展～花・絆・60年～

2022年10月22日・23日  
福井／越前市役所 eホール  
井上和萌 他34名



草月ならではの多彩な構成に驚く来場者。ステージ上には、旅人の木といかだで、スケールの大きな作品を展示した。

津市橋南公民館 文化祭

2022年10月22日・23日  
三重／津市橋南公民館  
指導:山口香湖



橋南公民館講座「花のある暮らし」受講生に講座を開催。各々が違う花材、花器、いけばなができるのは文化祭ならでは。

重要文化財温室前館西花卉室でいけばな展示

2022年10月14日～23日  
愛知／名古屋市東山動植物園温室前館西花卉室  
草月5名 写真作品:犬飼文柚・和田紗香



東山動植物園の秋祭りに合わせ、秋をテーマに作品を展示。草月からは前後期合わせて大作1点、小品3点を出品。

アイムふじみ野 文化祭

2022年10月15日・16日  
埼玉／アイムふじみ野・アイムスクウェア  
橋爪千峰



3年ぶりの開催となった町会文化祭。「水のないいけばな展」に出品した作品を含め、4作を出品した。

第72回高知県芸術祭協賛行事秋季いけばな県展

2022年10月21日～24日  
高知大丸 本館5F特設会場  
草月12名 写真作品:常石春紅(左)・関紅織(右)



いつも使用している施設が改修中のため、春に続き、パートでの開催に。買い物客を含め、多くの方で賑わった。

美術公募展&いけばな展 迎え花

2022年10月21日～26日  
神奈川(川崎市)／マルイファミリー溝口  
岡本理瑚・上野静勝



川崎市高津区文化協会主催の展示会で迎え花を制作。彩り豊かな作品の数々で来場者の関心を引いた。

The Japanese Film Festival

2022年10月13日  
カナダ／Saint Mary's University  
Ballesteros Miyako 虹都



在モンントリオール日本総領事館による映画祭にいけばなを飾る。秋を意識した花材を草月の鉄花器にかけた。

鉄道開業150周年 祝賀の花展

2022年10月14日～16日  
群馬／JR桐生駅 コンコース  
横塚秋霞・久保里寿美・星野樹孝



開業150周年を祝し、桐生花道協会で花展を開催。草月は蒸気機関車をイメージした合作を展示した。

第60回広島いけばな代表作家展

2022年10月20日～25日  
広島／福屋八丁堀本店 8階催会場  
草月21名 写真作品:高橋陽春



中国新聞社主催の伝統ある諸流派展。各流派とも趣向を凝らした秋の華やかないけばなで来場者を魅了した。

茨城県芸術祭いけばな展

2022年10月21日～23日  
茨城(水戸市)／ザ・ヒロサワ・シティ会館  
茨城県支部



大作、中作、合作、連作、個人作と、バラエティに富んだ会場構成に、インパクトのある作品で見る人を楽しませた。

博多座ミュージカル「ヘアスプレー」イメージ迎え花

2022年10月7日～18日  
福岡／博多座  
片山紅早



「主役の渡辺直美さんのポスターのイメージで迎え花を」との依頼で制作。SNSにも数多く発信された。

森林公園Harmony with Nature <トゥーランドット> XV

2022年10月7日～2023年1月13日  
埼玉（比企郡）／国営武蔵丘陵森林公園  
金田紫星グループ



園内の間伐材を再利用して制作。草月で学んだことをいかし、樹々が蘇る楽しさを感じていただいた。

大人のための伝統文化・芸能体験事業

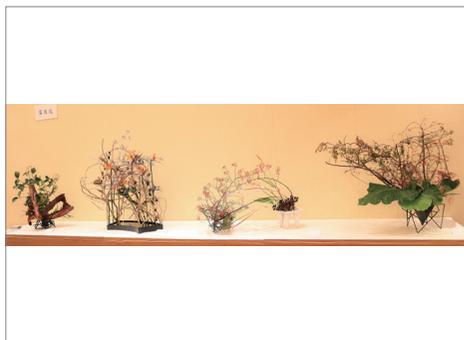
2022年10月2日  
東京／立川市女性総合センター・アイム  
今村草玉（体験指導：今村草玉社中10名）



東京2020オリンピック・パラリンピック1周年記念事業にて、いけばなパフォーマンスを披露。体験教室も実施。

秋の各流いけばな展

2022年10月7日～11日  
鹿児島山形屋文化ホール  
草月6名



夏から秋にかけて種子となる実や秋に色づく実を、出品者がそれぞれの個性をいかして、秋を表現した。

第21回加西市シニアクラブ連合会文化展

2022年10月1日～3日  
兵庫（加西市）／アスティアかさい3階交流プラザ  
大橋義延



前年に続き2回目の展示。テーマはトータルポール。古代米、被爆2世のおおぎりをなどを使って制作した。

ホテル迎え花

2022年10月1日～11月30日  
福島（郡山市）／ホテルハマツ  
菅野草苑 他6名



銅板・不織紙、プラスチックなどを使用。吹き抜けのある空間のため、立体感と色彩を意識しながら構成した。

「もりのこどう fusionII」

2022年10月11日～13日  
東京（渋谷区）／ギャラリー懐美館  
石塚洸枝



ギャラリーに森を創出。落ち葉を踏んで入る、座る、寝転ぶなどしながら、来場者に創造の森を体感していただいた。

山形市芸文協総合展覧会

2022年10月12日～16日  
山形美術館  
山形県支部山形地区7名



つるうめもどき、キウイ、実ものを使い、秋をイメージした作品に、たいへん好評をいただいた。

三創会創立60周年記念いけばな展

2022年10月9日・10日  
富山県民会館 地下展示室  
富山県支部 三創会



会の創立60周年を記念し、「未来に翔（はばた）く」をテーマに開催。161名が104点の多彩な作品を発表した。

ヘルスケアアート：医療施設ギャラリーに作品を展示

2022年10月10日～11月20日  
神奈川／済生会横浜市東部病院  
F.M.U.：柳沢香翠・石間星桜・大園芳雪・金子翠生・加藤春和



F.M.U.は医療福祉施設内に植物造形を展示し、ヘルスケアアートの分野で医療環境の向上に貢献する活動を行っている。

第11回新潟市華道協会古町華展

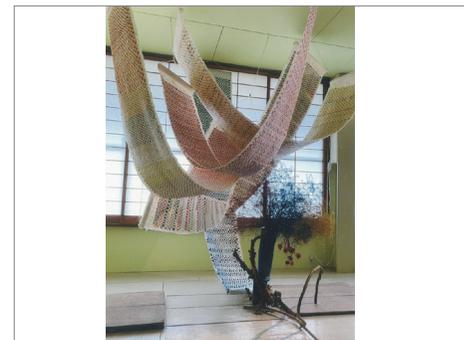
2022年10月8日～10日  
新潟／NEXT21 1階アトリウム  
草月4名（手前作品：小林雨虹）



恒例の華展。前年は中止になったが、作品数を減らして無事に開催できた。多くの方が足を止めてご覧になっていた。

越前和紙をいける

2022年10月8日～10日  
福井／草月陶房  
伊坂千松 他4名



テーマは「和紙をいける」。越前和紙を織り込み、横糸で色のパリエをつけながらの根気を要する制作となった。

宮日会館受付作品展示

2022年6月6日～12日  
宮崎日日新聞社受付  
樋口南草



テーマは「コントラスト」。花で涼と癒やしを感じてもらえるよう、色彩豊かにいけた。

ミュージック フロイデフロイデ～声楽と器楽の演奏～

2022年6月19日  
岐阜／サラマンカホール  
足立香予子



県内他で音楽指導者などとして活躍する方々の演奏会の舞台装花を担当。重厚感のある会場とピアノが映える作品に。

鎌倉駅展示

2021年7月30日・31日  
神奈川／JR鎌倉駅構内  
上原瑞光



暑い中での駅での展示だったため、ひょうたん形の籠に、てっせん、その他の花材で涼やかさを演出した。

陶・うつわ展に花を添える

2022年6月1日～7日  
東京（中央区）／三越本店本館5階ギャラリーライフマイニング  
諸岡萌昇・畠山知香



中平美彦さんの花器に季節の花をいけて彩りを添えた。使い方をイメージできるように、大小合わせて約10点を展示。

「バチエロレッテ・ジャパン」でいけばな監修

2020年春（放映）  
「バチエロレッテ・ジャパン」  
大谷美香



一人の女性を巡って、多数の男性陣が争うリアリティーショー。3人がいけばな対決を行う回で監修を行った。

駅を彩る

2021年6月  
宮崎／JR日豊線佐土原駅構内  
坂元清草



ご近所の方よりご提供いただいたブルーベリーを使用、梅雨の鬱陶しさを忘れるような清々しい作品に。

Nagasakiまちなか文化祭2022

2022年9月17日  
長崎／ベルナード観光通り  
長崎県支部



街中の賑わい創出を目的に開催されるイベントに参加。いけばなの展示と体験教室を行い、草月の魅力をアピールした。

音をいける 秋～ピアノといけばな～

2022年9月18日  
ウェスティン都ホテル京都 コスモスホール  
平石丹珠萌・平石丹珠門



2回目の開催となる「音をいける」。70名ほどの方に、ピアノ演奏といけばなデモ7作をお楽しみいただいた。

LOQUAT 夏祭り

2022年7月31日  
静岡／LOQUAT西伊豆  
市川愛霞 Photo: Norio Koito



古民家リノベーション施設の地域の夏祭りにて迎え花を公開制作。しゅろを扇のようにいけば、祭りを盛り上げる作品に。

国際芸術祭「あいち2022」パートナーシップ事業  
現代いけばなアート展

2022年9月7日～12日  
愛知／松坂屋名古屋店 南館1階オルガン広場  
小川紫園・中村寿美子・伴彩園・中川閑雅・平岩英紗帆



中日いけばな協会から流派を超えて40名が出品。草月からは5名が参加した。写真左は伴さん、右は平岩さんの作品。

東京タワー七夕week

2022年7月1日～9日  
東京タワー  
横井紅炎



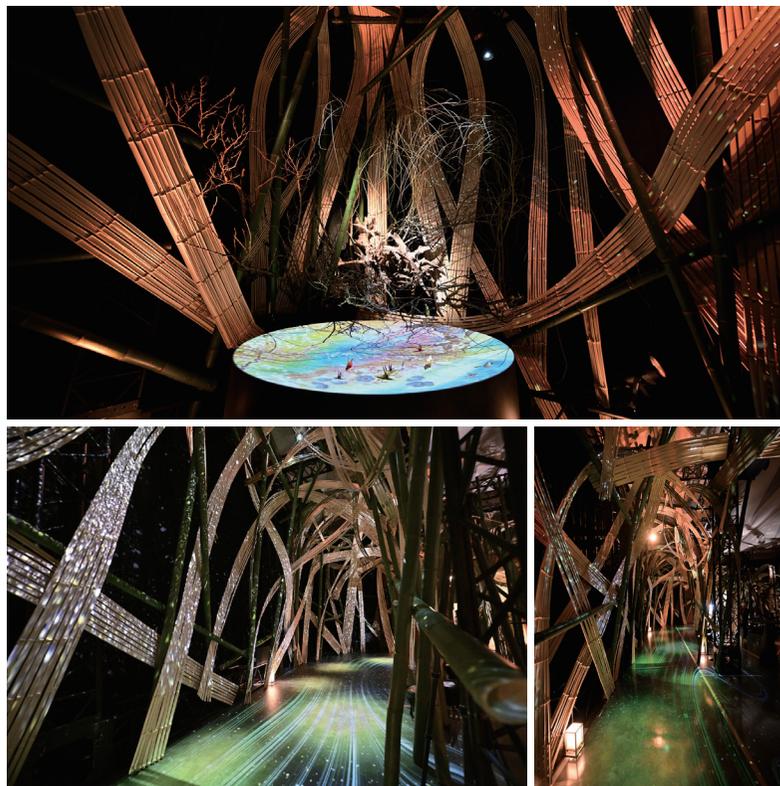
東京タワーで七夕イベント。竹あじさい等で構成した作品は短冊で覆われ最終的に見えなくなるほど盛況だった。

近代書芸院展会場花

2022年7月22日～25日  
埼玉会館  
藤本遙染



会場花3ヶ所を担当し、大きなセロームの葉とヴァンダで構成。フォトスポットとなり、賑わいを見せた。



G7広島サミットの夕食会にて、和のおもてなしとして「竹の路地」と「つくばい」を制作した。

## 社交夕食会の演出

**G7広島サミット  
社交行事・夕食会**  
5月20日  
グランドプリンスホテル広島

5月20日、G7広島サミット(2日目)において、岸田文雄内閣総理大臣夫妻による、G7及び招待国の

首脳並びに国際機関の長とその配偶者に対するおもてなしの一環として、社交行事が開かれ、クリエイターの村松亮太郎氏(NAKED, INC)が演出を手がけた。コラボレーションパートナーとして家元が竹のインスタレーションを制作。「和」を重んじた演出で、能、茶道、いけばな、神楽、箏といった日本の文化に触れる空間となった。

## 追悼・長東香川さん



● なつか・こうせん  
1943年草月入門。自宅庭や、琵琶湖に舟をだして湖上での野外研究会を開くなどして指導に取り組み。93年に指導者連盟名誉会員となる。95年、2011年に草月賞を、創流70周年、80周年、90周年に草月栄誉賞を受賞。

歴代家元のもとで研鑽を積み、ひたむきに歩んだ花の道  
草月流理事であり、名誉会員である長東香川さんが、2023年7月24日にご逝去なさいました。享年97歳。家元より以下の言葉が捧げられました。  
「長東香川様のご逝去を悼み、心からお悔やみを申し上げます。長東様は、1943年に草月流に入門され、戦後間もない1948年から指導を始められました。以来、ご自身の地元・京都はもちろんのこと、大阪教室、東京の本部にも足繁く通い、歴代家元のもとで熱心に研鑽を積まれました。そして、名誉会員として草月会の運営にも多大なご支援をいただきました。  
生前 長東様は、『蒼風御家元から雅号をいただく時、香川の川は、両岸の養分を吸収し、滔々と流れていくのだから、流れを止めたらだめ。淀まず濁らず、大海を目指しなさい』と声をかけていただき、この名前に恥じないようにと心がけてきました』と、語っておられました。  
朗らかにひたむきに花の道をまっすぐ歩まれた方でした。ご生前のお姿を偲びつつ、安らかなるご冥福を心よりお祈り申し上げます。」

## ● 学校 いけばな

### ミニチュール

長野女子高等学校  
指導：山崎恵美子



2023  
1/31

長さ80センチの透明チューブを使ってミニチュール風に制作しました。目を見張るような瑞々しい感性が輝き、ひと足早い春を感じさせてくれました。

### 苦手を克服

東京都立狛江高等学校  
指導：河村圭朋



2023  
2/16

年間に25回の活動を行い、毎回楽しく花と向き合っています。写真は部員たちが少し苦手を投入に挑戦した時のものです。



### さまざまな活動を

福岡県立糸島農業高等学校  
指導：甲斐明葉



2022年度

年間21回の活動を行い、基本花型、自由花などを指導。例年通り糸農祭(文化祭)での展示、正月花の制作などを行い、卒業式では大作にも挑戦しました。

### 「生活教養」の授業にて

岡山県立総社高等学校  
指導：甲怒青修



2023  
1/18  
・25

家政科の生活教養選択者の華道講習会が行われました。初回は基本花型、2回目はペットボトルを使ったアレンジにも挑戦。個性溢れる仕上がりになりました。

### 剣山なしに挑戦

三重県立明野高等学校  
指導：大間春豊



2022年度

50年ほどにわたり、草月が華道部を指導しています。写真は文化祭のときのもの。校内のほらんを使い、剣山を問わずにいけば、とても好評でした。

### 伐採した桜を使って

東京(練馬区) / 富士見中学校高等学校  
指導：樋口翠翔



2022年度

通常どおり年間22回の活動を行いました。夏休みからはカンボジアの留学生も参加。文化祭では校内で伐採した桜の幹を使って合同作品を発表しました。



草月文化活動支援基金への  
ご協力ありがとうございます  
2023年7月〜8月に当基金に  
寄せられた寄付金は、左記の通り  
です。(掲載は一万円以上、敬称略)  
堀田丹順、北海道支部オホソック会  
小川李紅、「からんとそーじゅー」のふた  
り展は「と2たいせいもいるよ」、白崎  
秀畔

嬉しい受賞  
前田葵舟さん(宮崎県高鍋町、師範  
会理事)は、令和5年6月25日、高  
鍋町文化協会創立50周年記念事業  
にて、文化功労感謝状を授与され  
ました。

訃報

佐々木正子(冬虹) 東京都/理事  
二〇二三年三月 享年九十歳

池田淑子(光峰) 福島県/理事  
二〇二三年七月十七日 享年八十三歳  
佐野怜子(朱怜) 埼玉県/顧問  
二〇二三年七月十七日 享年八十四歳  
長束忠子(香川) 京都府/理事  
二〇二三年七月二十四日/享年九十七歳  
増富彰子(二彰) 佐賀県/理事  
二〇二三年七月二十四日 享年八十歳  
松平典子(樹洗) 東京都/理事  
二〇二三年八月六日 享年九十三歳  
小林晴(霞芽) 長野県/顧問

二〇二三年九月八日 享年九十三歳  
【お詫びと訂正】本誌前号「支部活  
動報告」に誤りがありました。訂正  
するとともに、お詫び申し上げます。  
16ページ写真6の作品は別の  
展覧会で展示されたものでした。

今なら、入会金・再入会金が不要の講座も。この機会に、ぜひご受講ください！

※日程、講師は変更になることがあります。また、新型コロナウイルス感染症の影響や、天災及びその他不可抗力による事由により、開講を延期または中止する可能性があります。予めご了承ください。変更が生じた場合は随時告知いたしますので、草月流ホームページをご確認いただくか、教室運営課または草月WESTまでお問い合わせください。

サブテーマ「線色塊」

2023年度は「草月ってなんだろう？」を深掘りするために  
サブテーマ「線色塊」を設け、複数の授業で取り上げます。

創流100周年に向けて、草月いけばなの原点でもある「線色塊」と改めて向き合ってみましょう。

創流100周年に向けたテーマとして「草月ってなんだろう？  
—What's SOGETSU?—」を発表しました。(略)今年度は  
このテーマをさらに深く掘り下げるため、「線色塊」というサ  
ブテーマを設けました。

「線」「色」「塊」は、いけばなを構成する三大要素です。『草  
月カリキュラム3』のテーマにもなっていますので、草月を習っ  
ている方であれば、きっと幾度となく耳にしていることでしょ  
う。枝の伸びやかな線を強調したり、花の色をきわ立たせる

ために配色を工夫したり、花を密集させてボリューム感をも  
たせたりと、「線」「色」「塊」の三つの要素を意識しながら  
構成することで、作品はでき上がります。(略)「線色塊」を  
意識し、植物とじっくり対話してみてください。その結果、い  
つともはまるで違う作品になることもあるでしょう。それこそが  
いけばなの醍醐味ですし、自分の表現の幅を広げるきっかけ  
にもなるはずです。

『草』279号P.2〜3「だから、おしゃべりはやめられない」より

家元研究科

毎回テーマが設けられ、いけばなをさらに深く追究することを目標とします。  
感性と技術を磨く最高の勉強の場です。AT賞選考対象クラス。

入会金・  
再入会金が不要

	金	土	月	テーマ	講師
	14時/18時	10時30分/14時	10時30分/14時		
10月	27日	28日	30日	「再考・線」	日向洋一
11月	24日	25日	27日	私の表現	家元
12月	15日	16日	18日	三要素	川名哲紀

●申込方法：新入会をご希望の方は、TEL・FAX・E-mailで事前にご連絡ください。毎月の受講は、日程・時間をご確認の上、ご来館ください。●受講料：12,200円(花材費込み)

「本部家元研究科遠方割引キャンペーン」を実施中です。

東京の本部教室から遠方にお住まいの方限定で、「本部家元研究科遠方割引キャンペーン」を10月より実施しています。  
新型コロナウイルスの影響などで本部から足が遠のいてしまっていた方、新規に参加したくてもできなかった方、この機会に  
本部家元研究科を受講してみませんか？

一歩前に踏み出し、感性・表現をさらに磨くチャンスです。あなたの挑戦をお待ちしております！

※割引対象の方には、前号(8月号)に割引券を同封しております。受講方法・料金など詳しくは割引券をご覧ください。

家元教室

資格を問わず、どなたでもご参加いただけるいけばな教室です。  
ワンレッスン受講することもできます。

再入会金が不要

11月	火曜	7日	加藤久美子	14日	中村草山	21日	隅出美泉
	木曜	2日	片山 健	9日	坂口水恵	16日	岡崎 忍
12月	火曜	5日	加藤久美子	12日	片山 健	19日	中村草山
	木曜	7日	隅出美泉	14日	篠崎洵雅	21日	五十野雅峰

●原則として6日間、第1・2・3火曜と木曜 ●10時30分/14時/18時(各日3回開講) ●入会金：11,000円  
●月謝：12,040円(月3回分・花材費別) ※証書申請可能。 ※再入会をご希望の方は事前にご連絡ください。  
※月3回受講することが難しい方はワンレッスン受講も可(6,500円・花材費込み/都度払い)。

「草月文化活動支援基金」ご支援のお願い  
草月創流100周年に向けて

一般財団法人 草月会は、いけばな草月流を  
日々楽しませている、会員の皆さまや一般の皆  
さまに支えられ、活動を続けております。

今から30年前にあたる1993年6月に、草月会  
を主催とするいけばな展覧会等の文化活動を  
支援する目的として、「草月文化活動支援基金」  
は設立されました。

これまで多くの皆さまよりご支援(ご寄付)  
を賜りましたこと、深く感謝申し上げます。

ご支援して下さる皆さまとのつながりを大  
切に、また多くの皆さまによって草月の文化活  
動が支えられていることを広く知っていただく  
ために、ご寄付いただきました方は、機関誌  
『草』にお名前を掲載(一万円以上のご寄付)、  
また高額寄付(年間十万円以上のご寄付)をい  
ただいた方は「花に感謝の日」(毎年度3月開催)  
にご招待し、感謝状を贈呈させていただいてお  
ります。

2027年に迎える草月創流100周年の記念事  
業につきましても、この「草月文化活動支援基  
金」を大きな基とし、これからのいけばな文化  
のさらなる発展を実現してまいります。

草月創流100周年とその先のいけばな草月流  
に、あらためてご支援いただければ幸いです。

●「草月文化活動支援基金」は、以下の方法でご寄付いただけます。

ご寄付方法① 総務部総務課の窓口へのお持ち込み

ご寄付方法② 以下の口座へのお振込

<郵便局(払込取扱票)>

口座：00110-7-714962

口座名義：一般財団法人草月会 草月文化活動支援基金

<三菱UFJ銀行 青山通支店(店番084)>

口座：普通預金 1797877

口座名義：一般財団法人 草月会

<三井住友銀行 赤坂支店(店番825)>

口座：普通預金 561284

口座名義：一般財団法人 草月会

お問い合わせ [総務部]

TEL：03-3408-1154 / FAX：03-3405-4947 / E-mail：somu@sogetsu.or.jp

公開講座

普段のお稽古ではなかなかチャレンジできない内容で創造性を大きく伸ばすチャンス！  
経験豊富な講師の講義で、知識と技の引き出しがさらに広がります。

受講日	テーマ	講師	内容
10月28日 (土)	【塊】 「塊—カタマリ—」を 面白がろう	 岡本青珠	予想外に膨らむ様が面白い「発泡ウレタンスプレー」を使い、 「塊」を創り出します。午前中はお手持ちの枯れもの・着色花材 等と組み合わせたレリーフ作品、午後は生のはらんと組み合わせ た立体作品に挑戦しましょう。 発泡ウレタンは絵の具・マーカー・カラースプレー等で着色する こともできますし、固まればカッターナイフで切ることができます。 植物だけでは表現できない「塊」を面白がらしましょう！
11月8日 (水)	【色・蒼風】 切り紙絵アート —蒼風の「切り紙絵」 に学ぶ、色と構成—	 大泉麗仁	もともと「切り紙絵」がお好きだった蒼風先生は、アンリ・マティ スのおおらかで自由な「切り紙絵」作品も好んでいらっやいました。 そんな二人の作品から、色（色相、明度、彩度）の配色による 効果を学び、平面でも奥行きを感じさせる「切り紙絵アート」を 仕上げます。 最後に植物の線を入れて、自分の「切り紙絵アート」と融合し た作品づくりを楽しみましょう。
12月16日 (土)	【線・色・塊】 壁掛け作品に挑戦！ 【行事を楽しむ —クリスマス—】	 榎本紅萩	線・色・塊を意識して、生の植物を存分に使ったクリスマスの 壁掛け作品に挑戦します。 季節や行事にあわせたいけばなで、うるおいのある一日を過ごし ましょう。 すてきなクリスマスになりますように！

●授業時間：10時30分～16時 ●受講料：12,970円（材料費・昼食代込み）／入会金なし  
●申込資格：草指連会員 ●定員：40名 ●募集：随時受付中。郵便振替または会員サービス窓口でお申込みください。  
[郵便振替口座] 口座番号：00180-6-119808 / 加入者名：(一財)草月会 教室運営課 ※払込取扱票の通信欄に①受講  
希望日②草指連会員番号③名前④(お持ちの方は)メールアドレスをご記入ください。●申込締切：開催日の1週間前（た  
だし定員になり次第締め切ります）※お申込み後のキャンセル・ご返金はいたしかねます。※お申込み後でも、翌月以降（年  
度内）に振替受講が可能です。ご希望の方は、受講日の10日前までにご連絡ください。それ以降のご連絡の場合、実費（材  
料費および昼食代）をいただきます。皆さまのご参加をお待ちしております。

お知らせ

造形科 陶芸コース

本年度が、本部で作陶できる最後の機会です

長年愛されてきた草月造形科陶芸コースは、赤坂再開発に伴うアトリエ移転のため、来年度以降、本部での開講ができなくな  
りました。開校以来、今まで多くの方にご受講いただき、本当にありがとうございました。

今後、造形科陶芸コースは新たな形態で生まれ変わる予定です。どうぞ、ご期待ください。

11月開講日までは5回受講・1回受講・体験受講を受け付けています。

過去に受講経験がある方も初めての方も、本部で作陶できる貴重な機会です。

花器だけでなく、オブジェなど、無形態な土に委ねて、あなたの創造の形を創ってみませんか。

個人で、社中で、お仲間、ご参加お待ちしております。教室の雰囲気・講師紹介などは右上のQRよりご覧ください。



受講日

(原則月2回 火曜日、水曜日)11月7日、8日、12月19日、20日、2024年1月23日、24日、2月20日、21日

●講師：飛松弘隆 ●授業時間：11時～16時 ●受講料：体験レッスン15,000円（未経験者対象、1回のみ、焼成費・  
送料込み）、単発レッスン15,000円（過去受講歴のある方のみ、焼成費・送料別）、5回コース71,240円（焼成費、送料別）  
●申込資格：草月流学習者（入門の方から受講いただけます） ●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどに、①名前②草  
指連会員番号③住所④電話番号⑤(お持ちの方は)メールアドレスをご記入の上、「造形科陶芸コース」受講希望の旨を教  
室運営課までお知らせください。 ●申込締切：随時お申込みいただけます。

男子専科

初心者からベテランまで、男性限定のいけばな教室。いけばな作家や男性  
指導者の育成をめざすクラス。随時受付。

再入会金が不要

11月	10日(金) 岩淵幸霞	12月	8日(金) 西山光沙
	17日(金) 澤田晃映		13日(水) 澤田晃映
	29日(水) 岡崎忍		22日(金) 岩淵幸霞

●開催日は水曜1回、金曜2回 ●18時(受付：17時30分～19時30分) ●入会金：11,000円 ●月謝：12,040円(月3  
回分・花材費別)※家元教室・家元研究科への振替ができます。※証書申請可能。※再入会をご希望の方は事前にご連絡くだ  
さい。 ※月3回受講することが難しい方はワンレッスン受講も可(6,500円・花材費込み/都度払い)。

インターナショナルクラス

外国の方々を対象としたクラスです。授業は英語で行われます。

11月	6日 坂口水恵	12月	4日 坂口水恵
	13日 石川己青		11日 石川己青
	20日 福島光加		18日 高木水染
	27日 高木水染		25日 福島光加

●毎週月曜日 ●10時30分～12時30分 ●受講料：5,660円/1回(花材費込み。月4回目以降は5,300円)  
※証書申請可能。※祝日は休講となります。

「理事・顧問昇格試験 体験講座」ご案内

いよいよ草月最高峰の資格に臨む皆さまへ、昇格試験模擬講座のご案内です！  
皆さまからのご要望にお応えし、本番を再現したりハーサル形式で「解答用紙の書き方」や「花型図の描き方」など、合格  
のためのポイントを小沢清香師範が丁寧に指導いたします。疑問点を解決し、万全の準備で試験に臨みましょう。

東京教室		草月WEST	
日 時	12月7日(木)10時30分～16時	日 時	12月12日(火)10時30分～16時
会 場	草月会館4階教室	会 場	草月WEST
申込締切	11月30日(木)	申込締切	12月1日(金)

●受講資格：理事・顧問昇格試験受験希望者（お申込み多数の場合、今回受験予定の方を優先とさせていただきます）。  
本番の昇格試験の受験は、親先生の推薦が必要です。●講師：小沢清香 ●受講料15,000円（花材費、昼食代込み/東  
京・草月WEST共通） ●内容：午前/花型図 午後/実技 一種いけばな山なし（予定）  
※内容は変更になる場合があります。  
※2023年度の昇格試験は、理事・顧問が同日に行われます。  
東京：2024年2月2日(金) 草月WEST：2024年2月4日(日)  
【申込方法】はがき・FAX・E-mailなどに、①名前②草指連会員番号③住所④電話番号⑤希望会場⑥推薦者のお名前（親  
先生名）を明記の上、教室運営課、または草月WESTの「理事・顧問昇格試験 体験講座係」宛、東京は11月30日(木)、  
草月WESTは12月1日(金)までにお申込みください。お申込み後、受講案内と振込用紙をお送りします。  
※お申込み後、2023年度の受験予定の有無を確認させていただく可能性がございます。

本部特別技術講師・秋松伸一の講座I期生OB卒業展覧会

コロナ禍により3年延期となったI期生OBによる展覧会が、いよいよ開催  
です！秋松先生への追悼の意も込めて、個人作と合作で成果を披露します。

会期：12月15日(金)・16日(土)  
開場時間：10時～17時  
会場：草月会館2階談話室 入場料無料

【お問合わせ】 教室運営課 / TEL: 03-3408-1209

## レッツ・トライ! デモンストレーション in 関西 —楽しく学ぶ・楽しく教える—

### <第2期基礎科>2024年度開講決定!

講師	内容
講師： 勅使河原茜家元 助手： 五十野雅峰	草月ならではの華やかなデモンストレーションに挑戦しましょう！ 作品がゼロから生まれていく過程を効果的に表現することで、指導の場だけでなく、公共の場やイベントで披露すれば、いけばなを知らない方や海外の方にも、その魅力がダイレクトに伝わります。 いける技術だけでなく、正しい話し方や美しい仕草まで、家元の直接指導で笑顔と個性を磨く1年間。草月WESTでおこなう卒業発表会の舞台上、あなたの魅力を最高に輝かせましょう！



●日程：次号にて発表予定(全8回/原則木曜日) ●授業時間：12時～17時30分(昼食休憩はありません) ●受講料：前期110,000円/後期110,000円(半期分納制、※花材費込み。発表会花材のみ別料金) ●受講資格：草指連会員 ●定員：14名 ※お申込み多数の場合は先着順。 ●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどに、①名前②草指連会員番号③住所④電話番号⑤(お持ちの方は)メールアドレスをご記入の上、「レッツ・トライ! デモンストレーション in 関西」受講希望の旨を、草月WESTまでお知らせください。 ●申込締切：2024年3月9日(土)

## What's 自分 —自身の代表作に挑む!—

自分にとって最高のいけばな作品とはどのような物でしょうか?  
 これまで沢山の個展やグループ展で作品を作ってきましたが、うまく自己を解放して「はぁ～出しきった～」となったとき、やっぱりその作品はとて愛おしく思えます。そしてそのような作品ほど、評価をいただくことができている気がします。  
 心の中にある「何か」をダイレクトに植物にのせて、ありのままの自分を表現しましょう。  
 もっと感情的に! もっと感覚的に! 今最高の「私の花」を目指します。  
 本講座では沢山の花をいけます。毎回出しきってください。その先に、自分の心がのったいけばなが立ち現れます。

受講日(全3回)	講師	内容
第1回 2024年1月31日(水)	 秋山美晴	【過去】 過去の記憶を掘り起こし、記憶に正直な感情で花をいける。
第2回 2月28日(水)		【未来】 自身の未来の姿を想像し、率直な気持ちで花をいける。
第3回 3月27日(水)		【今】 現在の自分を見つめ、今の私をいける。

●授業時間：13時～16時 ●受講料：40,000円(材料費込み) ●受講資格：草指連会員 ●定員：21名 ●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどの書面で、①名前②草指連会員番号③住所④電話番号⑤(お持ちの方は)メールアドレスをご記入の上、「What's 自分 —自身の代表作に挑む!—」受講希望の旨を、草月WESTまでお知らせください。 ●申込締切：2024年1月10日(水)(ただし定員になり次第締め切ります)

サブスクリプション(定額見放題)の動画配信サービス  
 anytime SOGETSU エニタイム・草月



・動画本数 150本突破!! 月額2,200円、個別販売(1本550円～)もあります。

anytime SOGETSU には、草月流ホームページの「草月を習う」メニューより、または右上のQRより、どなたでもお入りいただけます。 <https://www.sogetsu.or.jp>

## 家元研究科

受講者自らの植物表現を追求し、感性と技術に磨きをかけるクラスです。  
 新入会・再入会大歓迎。AT 賞選考対象クラス。

入会金・  
再入会金が不要

	金曜	土曜	一創流 100周年に向けて— 草月ってなんだろう? 2027年の創流100周年へ向け、新たなテーマが掲げられました。 「私はなぜ花をいけるのか?」、「私が目指す植物表現とは?」、「私が追求したい素材は?」、「自由花って何?」これらの問いに対する答えを追求し続け、あなたにとっての「草月」を探求しましょう。	講師
	14時30分	10時30分/14時30分		
11月	17日	18日		福島光加
12月	15日	16日		家元
2024年1月	19日	20日		家元

●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどの書面で、希望日・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。 ●受講料(家元)：12,200円(花材費込み)/ (本部講師)：10,100円(花材費込み) ●授業開始の20分前から受付を開始します。

## 家元教室

毎回テキストのテーマからの2作、講師のデモンストレーションがあります。  
 たっぷり勉強できる充実の2時間。

再入会金が不要

11月	金曜	3日 五十野雅峰	10日 加藤久美子	24日 石川己青
	土曜	4日 //	11日 //	25日 //
12月	金曜	1日 五十野雅峰	8日 中田和子	22日 澤田晃映
	土曜	2日 //	9日 //	23日 //

●月3回 金曜・土曜 ●金曜(14時30分/18時30分)、土曜(10時30分/14時30分) ●入会金：11,000円 ●月謝：11,000円(月3回分・花材費別) ●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどの書面で、希望日時・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。 ※証書申請可能。 ※月3回受講することが難しい方はワンレッスン受講も可能(4,500円・花材費1,700円/都度払い)。 ※見学可能。

土曜日14時30分からの家元教室は、オンラインでも受講できます!

## 公開講座

ご希望のクラスを1回ごとにお申込みできる魅力ある講座です。  
 講師の個性がいかされたテーマにチャレンジできます。ぜひ受講ください。

受講日	テーマ	講師	内容
10月25日(水)	繰り返す結び目、紙ひものオブジェ	 田淵章流	紙ひもを結んでゆき、結び目との間に作られる平面を楽しみます。自立するように作られた平面と植物素材をあわせて造形しましょう。
12月20日(水)	重厚感あふれる竹、わら縄、正月花の饗宴	 隅出美泉	わら縄をふんだんに使い、竹とあわせてオリジナルの器・オブジェの形を探ります。正月花としても使えるような造形を目指します。花材が少なくても大丈夫。空間に広がるわら縄の線をいかし、自分だけの正月花と一緒に追求しましょう。

●授業時間：13時～16時 ●受講料：4,400円(素材費別) ●定員：田淵クラス30名・隅出クラス20名 ●申込資格：草指連会員 ●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどの書面で、希望日・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。 ●申込締切：開催日の前々週の週末(ただし定員になり次第締め切ります)

本部主催支部研究会・講習会

栃木県支部	10月1日(日)	研究会 ライトキューブ宇都宮(宇都宮駅東口交流拠点施設)会議室	荒川映翠	☎ 080-5382-5962
愛知県支部	10月8日(日)	研究会 イーブルなごや	竹口陽苑	☎ 0564-21-3197
宮崎県支部	10月22日(日)	研究会 宮崎市民プラザ4F ギャラリー②	石田南憧	☎ 0985-47-8770
高知県支部	10月29日(日)	研究会 高知市文化プラザ かるぼーと 特別学習室	筒井美香	☎ 088-882-8977
岩手県支部	11月5日(日)	研究会 盛岡市総合福祉センター 4階講堂	四役滋陽	☎ 019-623-5548
宮城県支部	11月12日(日)	研究会 東京エレクトロンホール宮城(宮城県民会館)	佐藤霞岳	☎ 022-304-5620
福島県支部	11月12日(日)	研究会 ビッグアイ	大河原喜恵	☎ 024-951-0390
新潟県支部	11月12日(日)	研究会 生涯学習センタークロスバルにいがた5階交流ホール	小林秀紅	☎ 025-283-3873
長野県支部	11月12日(日)	研究会(家元) 安曇野高橋節郎記念美術館	横山貴花	☎ 090-8328-9400
沖縄県支部	11月12日(日)	研究会 那覇市人材育成支援センター まーいまいNaha 2Fホール	金城暎翠	☎ 098-836-7226
佐賀県支部	11月23日(木・祝)	研究会 佐賀県立佐賀城本丸歴史館 御玄関前	佐田富紅輝	☎ 0952-28-0242
岡山県支部	11月26日(日)	研究会 倉敷市芸文館 202会議室	伊達香貴	☎ 086-222-0180
島根県支部	12月10日(日)	講習会 松江市市民活動センター(スティックビル) 交流ホール	増本市子	☎ 0852-23-3648
奈良県支部	2024年2月12日(月・祝)	研究会 草月WEST	福井靖星	☎ 0742-35-4432
東京西支部	2月18日(日)	研究会 草月会館教室	久保田芳生	☎ 042-521-1434
山形県支部	5月26日(日)	研究会 酒田市総合文化センター	土田紫蘭	☎ 0234-24-9148

支部展

東京西支部展 第27回「よみがえる樹々のいのち展」 「Wow!! SOGETSU! IN THE PARK!」	10月10日(火)～11月26日(日) 国営昭和記念公園 溪流広場周辺	久保田芳生	☎ 042-521-1434
兵庫県支部展 「はな・わたしの原点」	10月28日(土)・29日(日) 姫路文学館「望景亭」 12月9日(土)・10日(日) GALLERY北野坂	大向佐都	☎ 079-492-8918
佐賀県支部展 佐賀県支部統合35周年記念いけばな展 「THE竹 =結ぶ つなぐ=」	11月24日(金)～26日(日) 佐賀県立佐賀城本丸歴史館 御玄関前	佐田富紅輝	☎ 0952-28-0242
群馬県支部展 「草月一花をみつめて」	11月25日(土)・26日(日) 昌賢学園まえばしホール(前橋市民文化会館)	正木虹映	☎ 027-327-7624
三重県支部展 「風を感じて～竹の社～」	11月25日(土)・26日(日) いつきのみや地域交流センター	中村純麗	☎ 0598-42-3545
愛知県支部展 「花と巡る歴史の舞台」(家元出品)	11月30日(木)～12月4日(月) 岡崎公園	竹口陽苑	☎ 0564-21-3197
東京北支部展 「連花と連歌」(家元出品)	2024年2月11日(日)・12日(月・祝) シアター1010	秋山美晴	☎ 090-2256-5360

フラワーク

とらや赤坂本店	10月	～10月27日	横地鴻政	赤坂見附
	11月	10月28日～11月27日	石塚桂草	
	12月	11月28日～12月26日	田中嶺紗	
ザ・キャピトルホテル東急	常設		杉岡宏美	溜池山王・国会議事堂前
ホテルニューオータニ東京(ロビー階)	～10月11日		日向洋一	赤坂見附・永田町・麹町
	10月13日～11月13日		五十野雅峰	
横浜ベイホテル東急(B1階神殿口)	常設		御手洗直己	みなとみらい・桜木町
ラフォーレ原宿 GR8(2.5階)	常設		飯岡湖武攷	明治神宮前・原宿
ホテルエミオン京都(笹屋伊織 別邸・3階ロビー)	常設		高嶺一染	梅小路京都西
草月会館日本間 開場時間:初日は午後から、最終日は午前中まで	10月2日～13日		片山紅早	青山一丁目
	10月16日～28日		日向洋一	
	10月30日～11月10日		菊田汀佳	
	11月13日～25日		坂口水恵	
11月27日～12月8日		中村美梢		

【お詫びと訂正】本誌前号「カレンダー」に誤りがありました。訂正し、お詫び申し上げます。P.39 フラワークとらや赤坂本店 10月 (誤)横地江政 (正)横地鴻政

【草月会館土・日・祝日特別開館日】草月会館の特別開館日は、以下の通りです。その他の土・日・祝日は、草月会館は休館しております。10月28日(土)、11月25日(土)、12月16日(土) ※草月WESTは月曜休み、祝日はオープンし翌営業日を休みとします。

年間行事予定

～10月2日(月)	第56回日本いけばな芸術展(日本橋高島屋S.C. 8階ホール) ※家元通期出品
10月8日(日)	家元による献花式 東寺(京都)・真言宗立教開宗1200年慶讃大法会法要
10月15日(日)	家元による献花式 東大寺(奈良)・東大寺開山良弁僧正1250年御遠忌法要
10月18日(水)	財団理事会(草月会館/11時～)
10月22日(日)～29日(日)	山中花回廊PART19(石川県加賀市山中温泉)
10月25日(水)～30日(月)	第104回草月いけばな展(日本橋高島屋S.C.)
11月16日(木)～21日(火)	創立70周年記念兵庫県いけばな協会展(大丸神戸店9F「大丸ミュージアム神戸」) ※家元前期(16～18日)出品
11月23日(木・祝)	プレミアムデモンストレーションショー「茜の部屋」(草月会館) ※詳しくはP.9をご覧ください
12月15日(金)・16日(土)	秋松伸一の講座1期OB卒業展覧会(草月会館2階談話室)
12月29日(金)～2024年1月8日(月・祝)	草月会館・草月WEST 冬季休暇
2024年1月13日(土)	茜家元と迎える新年の会2024(草月ホール・ホテルニューオータニ東京)
1月24日(水)	財団理事会(草月会館/11時～)

各地の展覧会

SEEING SPIRIT	10月2日(月)～8日(日) 六本木ストライプスペース	石塚洸枝	☎ 090-5542-5354
うだつ 花と和紙	10月8日(日)～22日(日) 藍商佐直 吉田家住宅(徳島県美馬市)	出村丹雅草	☎ 090-4500-0595
Atelier Reio 社中展 「So long ーまた逢う日までー」	10月13日(金)～16日(月) ANAインターコンチネンタルホテル東京	モランジュ真紀子	makikomorange@gmail.com
和田紗香グループ ー小さないけばな展ー	10月14日(土)・15日(日) ナゴヤハウジングセンター 日進梅森会場内	和田紗香	☎ 070-5645-1784
Yukiko.M と花を愛する仲間たちいけばな展 「花の優しさ」	10月14日(土)・15日(日) 鈴鹿医療科学大学附属 桜の森病院(三重県鈴鹿市)	三浦幸子	☎ 0594-22-2181
岩手県支部 奇樹の会 小さな・小さな・いけばな展	10月14日(土)・15日(日) 岩手県公会堂(盛岡市)	上田光峰	☎ 019-645-2858
第6回徳久星蘭社中展	10月21日(土)・22日(日) そごう横浜店9階センタープラザ	徳久星蘭	☎ 045-391-6684
2023年草月会新潟県支部 第一グループ展	10月21日(土)・22日(日) ホテル イタリア軒(新潟市)	鶴巻江恵	☎ 0256-53-1621
花跳風月～物語る花	10月23日(月)～28日(土) カフェバー&アーツスペース「REVERSE」(中央区)	村上蕉雅	☎ 090-2327-1821
アスコットミュージアム	10月23日(月)～29日(日) アスコット丸の内東京	石塚洸枝	☎ 090-5542-5354
秋を奏でる	10月27日(金)～29日(日) 能美市寺井地区公民館展示室	倉元清花	☎ 090-2030-8722
第5回草月会富山県支部「耀の会」いけばな展 ー想いをのせてー	10月28日(土)・29日(日) KNB入船別館(富山市)	平野光草	☎ 076-425-6366
第24回大澤秀紅社中展 「彩・色・COLOR」	11月4日(土)・5日(日) 三島商工会議所 TMOホール	大澤秀紅	☎ 090-3305-0995
evolution<進化> 新たな目と心で	11月5日(日)・6日(月) 北とぴあ(北区)	佐藤聖光	☎ 090-5776-0284
森林公園Harmony with Nature 「トゥーランドットXVI」	11月11日(土)～2024年1月12日(金) 国営武蔵丘陵森林公園	金田紫星	☎ 090-8016-6598
大川春雪×中野紘子展「炭と絹」	11月23日(木・祝)～26日(日) 楽歩堂前橋公園内 日本庭園和室	大川春雪	☎ 080-3152-2171
いけばな草月流×無鄰菴 こんな椿をみたことがありますか？ レッツ・トライ！デモンストレーション in 関西1期生【KARAKU】グループ展	2024年1月26日(金)～28日(日) 無鄰菴(京都市) ※要入場料・予約優先	荒木香優	☎ 080-5781-5797
SYC東京1企画展「点々」	2024年2月24日(土)・25日(日) White Gallery(メイン会場)、ギャラリーマルヒ、 Gallery KINGYO(いずれも文京区)	橋本佳蘭	karan@ymail.ne.jp

このページに掲載されているイベントは内容が変更になる場合がございます。本部にお届け済みのイベントが中止または延期となった場合は、出版部 編集制作室までご報告くださいますようお願い申し上げます。

【出版部 編集制作室】 TEL:03-3408-1158 / FAX:03-3405-4947 / E-mail:info@sogetsu.or.jp